

県消防操法大会で優秀賞

8月4日、消火までの基本的な動作や規律などを競い合う第68回岐阜県消防操法大会が、飛騨エアパーク(高山市)で開催されました。

可児市からは5月に行われた市操法大会で優勝した第3分団第2部(春里東南部)が代表として出場。駆けつけた多くの地元応援団や関係者が見守る中、団員たちは日頃の訓練の成果を発揮し、29隊中5位(優秀賞)の好成績を収めました。



喜びを噛み締める第3分団第2部の団員



盆踊りで盛り上がる参加者

みんなで ゴーゴーゴー♪

8月10、11日、可児夏まつりが市役所駐車場で行われました。盆踊り・総踊りでは可児市オリジナルソング「麒麟児・みつひでクン」も流れ、多くの人々が輪を作り、歌詞の「ゴーゴー」に合わせていきいきと踊っていました。参加した小学生からは「こんな面白い曲があるのは知らなかった」「周りの人のマネをしながら踊れて楽しい」といった声が聞けました。

世界にはばたけ!かにかっこたち

8月2～11日の10日間、市内の中高生15人が「かにかっこ海外交流訪問団」としてオーストラリア クイーンズランド州 レッドランド市を訪問し、ホームステイをしながら異国の言語や文化を学びました。

8月24日に総合会館で行った帰国報告会では、「可児市の魅力を英語で伝えたら興味を持ってもらえた」「英語をもっと勉強して世界中の人と繋がりたい」と、参加者が現地で体験したことや気づいたことなどを発表しました。



英語で楽しく交流

人間国宝 加藤孝造 写真展

市役所で9月2日、国の重要無形文化財「瀬戸黒」の技術保持者である加藤孝造さんを被写体とする写真展が始まりました。加藤さんからは昨年、市に71点の作品を寄贈頂きました。庁舎1階から3階の階段、3階廊下にかけて展示が続き、作品や工場の庭の四季などが収められた貴重な写真を見ることが出来ます。

展示は今年度末まで行う予定です。人間国宝の作陶風景を間近で感じてみてはいかがでしょうか。



写真を鑑賞する来庁者

夏の夜! 城下町をぶらり歩き

幻想的に飾られた灯籠や竹あかりを見ながら夕涼みを楽しむ「ぶらり歩き」イベントが市内の2カ所で開催されました。



泳宮の灯籠

久々利城下 8月17日

約800人の人が訪れ、スタンプラリーを楽しみながらまち並みを散策しました。東明小学校の全校児童約250人が描いた灯籠の前では、記念撮影をする姿もありました。泳宮では、景行天皇が見初めた美人姉妹の物語にちなんで、縁結びの絵馬(鯉)を掛けるコーナーも設けられ「可児市にこんな素敵な場所があったとは知らなかった」といった声が聞かれました。

美濃金山城下 8月24日

マーチングバンドや烏峰太鼓の演奏、地元団体などによる飲食ブースの出店などで賑わい、訪れた約1,000人が涼やかな夏の夜を楽しみました。

竹の伐採から製作まで多くの地域の人に関わる竹あかり。行灯の絵は地元のサロンに通う高齢者らが作成したもので、美濃金山城主森家の家紋をかたどった行灯やハート型に配置され七色に光る竹あかりなどが来場者を魅了しました。



兼山小学校マーチングバンド



兼山の竹あかり

カワゲラいるかな??

8月3日、可児市めだかの楽校が、水中で生活する生物の調査「カワゲラウォッチング」と一斉水質調査を実施し、市内の親子15人が参加しました。

中部大学の村上哲生教授から可児川に棲む生きものたちの説明を受けた後、実際に川に入って調査を開始。最初は生きものの動きがつかめず捕獲するのに苦労していましたが、徐々にコツをつかんでテナガエビやオイカワなど多種の生物を観察しました。



捕獲した生物を観察する様子



ジャガイモの皮むきをする子どもたち

待望の校庭キャンプが復活!

8月3日、桜ヶ丘地区で子どもたちが地域の人などと世代を超えた交流を持つことを目的とした「夏休み校庭キャンプ」が開催されました。

昨年は、酷暑のため中止でしたが、子どもたちからの熱望により、打ち水や開始時間を夕方からにするなど対策を講じて実施。子どもたちからは「みんなで作ったカレーライスがおいしかった」「校庭でテントを張って寝るのはワクワクした」など、夏のイベントを楽しむたくさんの笑顔が見られました。